

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 武蔵野市のよさにズームイン

3 単元の目標

		武蔵野市民科 資質・能力
○知識・技能の習得	自然や動物を大切にするためのまちづくりは、自分たちの生活に大きく関わっていることを理解している。情報を比較・分類・関連付けするなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	C1
○思考力・判断力・表現力等の育成	現状や理想との隔たりから課題をつくり、解決に向けて自分にできることを考えている。伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	B2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	地域の活性化に向けた取組を考えたり実行したりする中で得た知識や友達の考え、地域の方々の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。取り組みや状況を振り返り、地域の活性化に向けて粘り強く取り組もうとしている。	B3

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	武蔵野市のよさについて課題設定する。	2	・セカンドスクールでの飯山市と武蔵野市を比較し、それぞれのよさや違いを知ることができるようにする。	
	武蔵野市のよさについて調査する。	4	・設定した課題について、情報収集を行う。	
	地域の活性化に向けた取組を考える。	4	・情報収集した内容をまとめる中で、地域の活性化のに向けた取組を考える。	
	学級でまとめたことを発表・共有する。	2	・学級内で調べたことを共有し、地域の活性化に向けた取組としてどのようなことができるのか分類する。	国語「よりよい学校生活のために」
小単元 ②	学年で地域の活性化に向けた課題設定をする。	4	・共有した武蔵野市のよさの中で、もっと深く知りたいことやよりよくするために自分たちにできることを考え、学年のテーマを話し合う。	
	課題の解決に向けて、市内で活動している方々に話を伺い、情報収集する。	10	※R7 ・「ごみが落ちていないきれいなまちづくり」「商店街の活性化」をテーマに関連する方々に話を伺うための準備をする。 ・ごみ対策課の方を招いたり、個人店に出向いたりして、話を伺ったり質問をしたりする中で、課題を見付け、自分たちにできることを話し合う。	市役所ごみ対策課 個人店（4件）
	自分たちにできることを計画・準備する。	10	・チームごとに、プロジェクトの計画・分担・準備などを行う。	国語「あなたは、どう考える」
	プロジェクトを実践する。	10	・計画を実践する（※ごみ拾いデー、クリーンセンター見学、分働会、ボスター、インタビュー会、保護者・地域・4年生への報告会など） ・学習課題に対する自分の考えをまとめる。 ・学びがどのように生活に生かせるか具体的に考える。	国語「『子ども未来科』で何をする」

合計時数 46 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題
1学期のセカンドスクールでのサイクルを生かし、2学期と3学期は、児童主体で学習を進めた。基本的に教員は見守り、司会グループに委ねることが増えた。学年全員で話合って計画し、分担し、実行し、振り返りを次に生かすことを何度も繰り返す中で、少しずつ全員が自分事として積極的に取り組む姿が見られるようになった。お招き会やプロジェクトの実行で、他学年やたくさんの大人と関わり、意見をもらったりほめられたりすることが大きな意欲につながっていた。	・2クラス合同の学年での学習としたため、話合いは意見を言う児童が偏りがちであった。各クラスでの教科・学級会等で、より一層意見交流、合意形成を大切にしていく。 ・2学期はじめてテーマを充分話合ってしぼり、軸となる関連団体には早目に連携を図ることはできた。予想される展開をあらかじめ共有したが、細かな連絡等で改善すべき点はあった。